

令和5年度 御前崎市 がん検診日程

照会 健康づくり課 ☎0537⑤1123

便利な Web 申し込みはこちらから▶



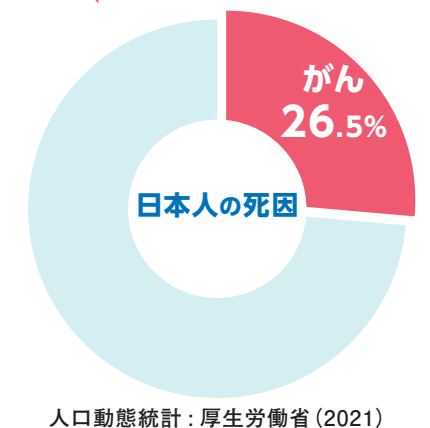
- 昨年度、市のがん検診を受診した人や申し込みをした人には問診票や案内通知を送ります。
- 上記以外で検診を希望する人は、Web か電話で健康づくり課へお申し込みください。なお、節目年齢で市から案内通知を送付する人もいます。
- 問診票や案内通知は検診日の約1カ月前に郵送する予定です。
- 胃がん検診は発泡剤とバリウムを飲んで、胃を様々な角度から撮影する検査方法です。日常生活でむせのある人は誤嚥する危険が高いため、かかりつけ医などへご相談ください。
- 症状がある人や治療中の人は、検診ではなく医療機関を受診してください。

お住まいの地区によって
検診期間が異なります。
ご注意ください！

| 検診項目 | 対象年齢 | 検査方法 | 自己負担金 | 検診期間 | |
|---------------------------|---|--|---|-----------------------------|---------------|
| | | | | 池新田・高松 佐倉・比木 朝比奈・新野 | 白羽 御前崎 |
| 肺がん検診 (胸部検診) (結核健診) | 40歳以上 | 問診、胸部レントゲン撮影 <small>かくたん 喀痰検査</small> (50歳以上の高危険群) | 200円 <small>かくたん 喀痰検査 500円</small> | 6月2日 ～27日 うち16日間 | |
| 大腸がん検診 | s58.4.1以前生まれ | 問診、便検体提出 (便潜血検査2日法) | 500円 | 10月17日 ～12月19日 うち40日間 | |
| 胃がん検診 | | 問診、胃部レントゲン撮影 | 1,300円 | | |
| 乳がん検診 | 20歳以上の 偶数年齢女性 | 問診、マンモグラフィー (40歳未満はエコー) | 1,500円 | 6月～9月 | 7月13日 ～15日 |
| 子宮頸がん 検診 | H15.4.1以前生まれ | 問診、内診、細胞診 | 1,000円 | | 7月18日 ～21日 |
| 前立腺がん 検診 | 50歳以上の男性 s48.4.1以前生まれ | 問診、血液検査 | 1,200円 | 8月2日 ～8月30日 うち11日間 | 9月21日 ～23日 |
| 肝炎ウイルス 検査 | 39歳以上の 未検査者 s59.3.31以前生まれ | 問診、血液検査 | 1,000円 | | 全部で 10日間 |
| 骨粗しょう症 検診 | 40,45,50,55,60, 65,70歳の女性 R5.4.1時点の年齢 | 問診、レントゲン骨塩測定 40,45,50,55,60,65,70歳 の女性(R5.4.1の年齢) | 500円 | 7月20日 ～31日 うち7日間 | |
| 若い世代の 健康診査 (U-39健診) | 25～38歳 s59.4.2～ H10.4.1生まれ | 問診、身体計測、血液検査、尿 検査、血圧測定、診察 | 1,500円 | 12月～1月 | |

※がん検診の年齢の基準日はその年の4月1日です。(肝炎ウイルス検査は除く)

知っていますか？
日本人の4人に1人は
がんで亡くなっています



人口動態統計：厚生労働省(2021)

今年も受けよう がん検診

がん検診で**早期発見・治療**できれば
生存率は**約90%!**

がんにかかっても、初期段階ではほとんど自覚症状がありません。気付かないうちにがん症状が進行し、自覚症状が現れたときにはすでに命の危険にさらされていることも少なくありません。治療が十分に可能な段階でがんを早期発見するために、定期的ながん検診を受けましょう。

がんの5年相対生存率

| | 胃がん | 肺がん | 大腸がん | 乳がん | 子宮頸がん |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| ステージⅠ | 96.0% | 83.9% | 94.4% | 99.7% | 95.8% |
| ステージⅣ | 6.3% | 7.4% | 18.8% | 37.2% | 25.2% |

がん診療連携拠点病院などにおける5年生存率(5年相対生存率)：国立がん研究センター「がんの統計2022」
※ステージとはがんの進行程度を数字で表したものです。0～Ⅳの5段階に分類され、数字が大きいくほど進行したがんになります。



がん検診の結果が要精密検査となったら？
必ず精密検査を受けましょう

御前崎市民の精密検査受診状況

| | 胃がん | 肺がん | 大腸がん | 乳がん | 子宮頸がん |
|---------|-------|-------|-------|------|-------|
| 精密検査受診率 | 91.3% | 98.1% | 76.6% | 100% | 100% |

令和2年度地域保健・健康増進事業報告より

婦人科がん検診は要精密検査となった全員が精密検査を受診しています。しかし、他のがん検診については精密検査を受けずに放置している人がいます。精密検査や治療を受けるまでが「がん検診」です。
「時間がない」「自分に限って大丈夫」「結果を知るのが怖い」「たまたま便秘だった」「痔だから大丈夫」「高齢だから行かない」などの理由で自己判断せず、精密検査を実施してくれる医療機関へ行ってください。
先延ばしにすればするほど、治療にかかる期間や費用が増えていきます。

